

報道関係各位

【調査でわかる、マーケティング領域への AI 導入の秘訣】 導入の満足度 No.1 AI ツールは「ChatGPT」 社内理解を得ながら、導入を進めるポイントは？ ～AI ツール導入時に気を付けることは「導入目的の明確化をする」など～

デザイン思考による UX デザインで企業のマーケティング活動を支援するネットイヤーグループ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO 廣中龍蔵、以下：ネットイヤーグループ）は、部門独自で AI を活用しているマーケティング部門の責任者 102 名を対象に、マーケティング領域における AI の活用実態調査を実施しましたので、お知らせいたします。

■調査サマリー



- 01 | 満足度の高い AI ツール、第 1 位「ChatGPT」（76.8%）
- 02 | AI ツール導入の社内理解が得られない中での進め方、「他社の成功事例を用いて説明を行った」8 割以上
- 03 | 導入にあたって気を付けるべきポイント「導入目的の明確化をする」（64.7%）や「活用ルールを整備する」（52.9%）などが上位に

▼本調査のレポートダウンロードはコチラ

【実態調査レポート】マーケティング領域における AI の活用実態調査

<<https://www.netyear.net/services/dl/ai-research2024/>>

■調査概要

調査名称：マーケティング領域における AI の活用実態調査

調査方法：IDEATECH が提供するリサーチデータマーケティング「リサピー®」によるインターネット調査

調査期間：2024 年 9 月 4 日～同年 9 月 5 日

有効回答：部門独自の AI を活用しているマーケティング部門の責任者 102 名

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはなりません。

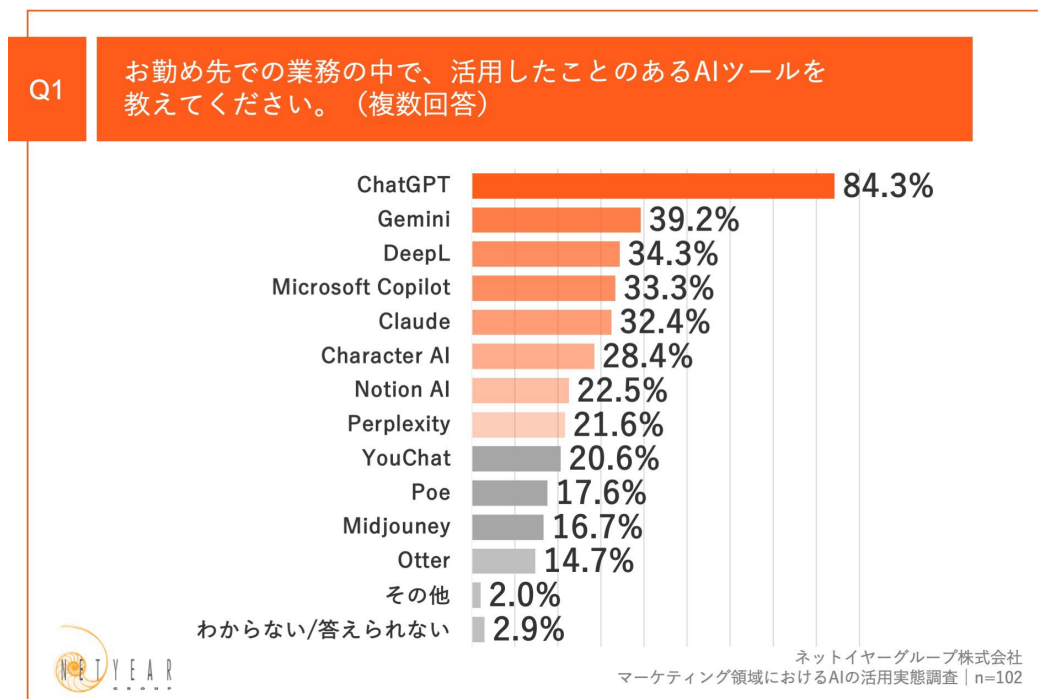
「利用条件」

- 1 情報の出典元として「ネットイヤーグループ株式会社」の名前を明記してください。
- 2 ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、下記リンクを設置してください。

URL : <https://www.netyear.net/>

■業務の中で、活用したことがある AI ツール、「ChatGPT」が 84.3%で最多

「Q1.お勤め先での業務の中で、活用したことがある AI ツールを教えてください。（複数回答）」
(n=102) と質問したところ、「ChatGPT」が 84.3%、「Gemini」が 39.2%、「DeepL」が 34.3%という回答となりました。

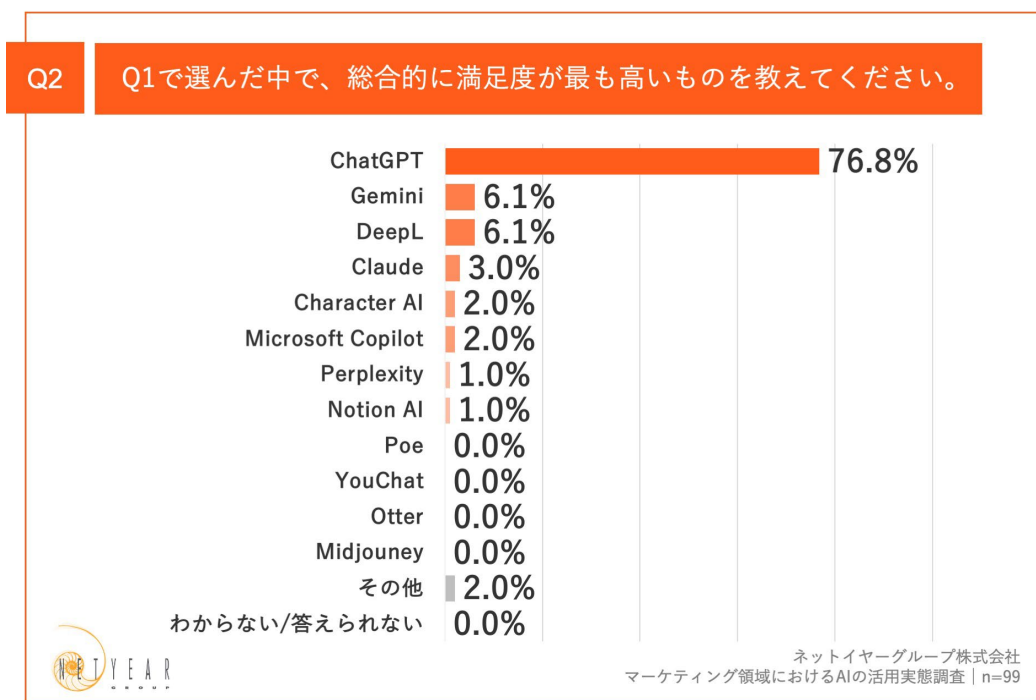


- ・ ChatGPT : 84.3%
- ・ Gemini : 39.2%
- ・ DeepL : 34.3%
- ・ Microsoft Copilot : 33.3%
- ・ Claude : 32.4%

- ・ Character AI : 28.4%
- ・ Notion AI : 22.5%
- ・ Perplexity : 21.6%
- ・ YouChat : 20.6%
- ・ Poe : 17.6%
- ・ Midjourney : 16.7%
- ・ Otter : 14.7%
- ・ その他 : 2.0%
 - 54 歳 : 自社の AI ツール
 - 58 歳 : wovn
- ・ わからない/答えられない : 2.9%

■ AI ツール導入満足度、第 1 位「ChatGPT」

Q1 で「わからない/答えられない」以外を回答した方に「Q2.Q1 で選んだ中で、総合的に満足度が最も高いものを教えてください。」（n=99）と質問したところ、「ChatGPT」が 76.8%、「Gemini」が 6.1%、「DeepL」が 6.1%という回答となりました。

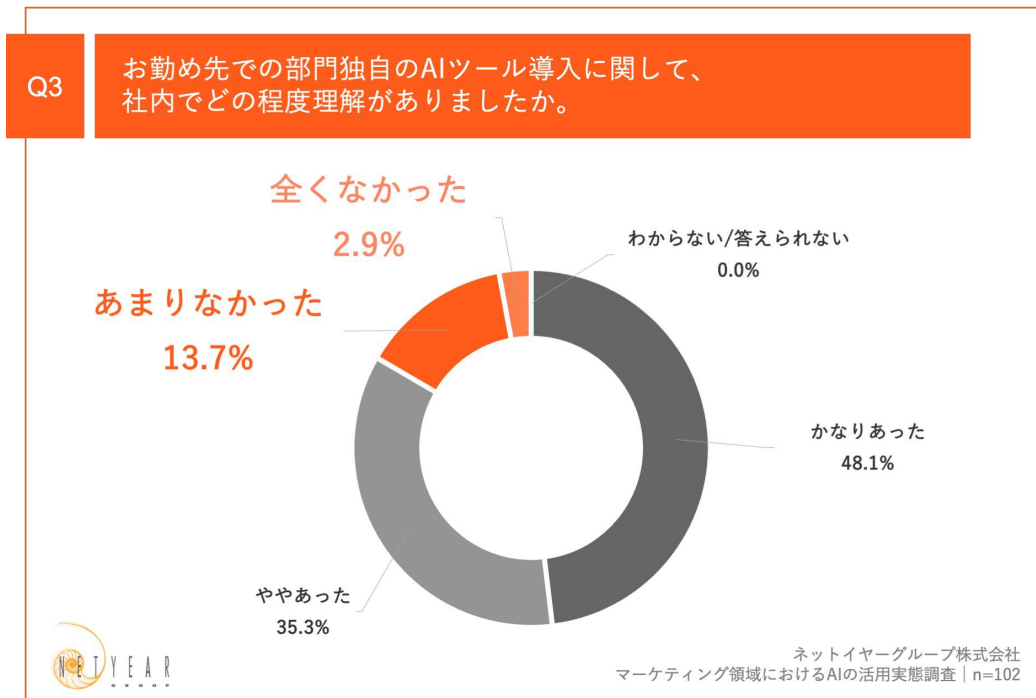


- ・ ChatGPT : 76.8%
- ・ Gemini : 6.1%
- ・ DeepL : 6.1%
- ・ Claude : 3.0%
- ・ Character AI : 2.0%
- ・ Microsoft Copilot : 2.0%
- ・ Perplexity : 1.0%
- ・ Notion AI : 1.0%
- ・ Poe : 0.0%
- ・ YouChat : 0.0%
- ・ Otter : 0.0%

- ・ Midjourney : 0.0%
- ・ その他 : 2.0%
- ・ わからない/答えられない : 0.0%

■ AI ツール導入に関して、約 2 割は「社内理解がなかった」実態

「Q3.お勤め先での部門独自の AI ツール導入に関して、社内でどの程度理解がありましたか。」（n=102）と質問したところ、「あまりなかった」が 13.7%、「全くなかった」が 2.9%という回答となりました。



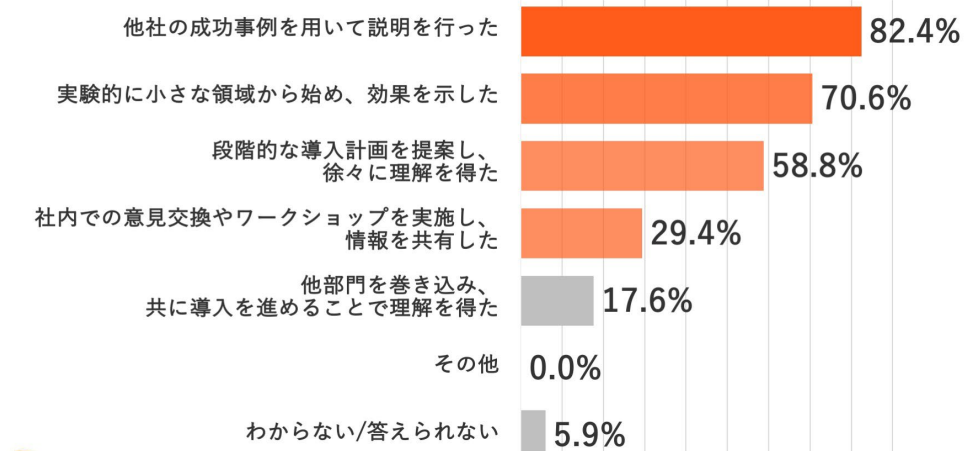
- ・ かなりあった : 48.1%
- ・ ややあった : 35.3%
- ・ あまりなかった : 13.7%
- ・ 全くなかった : 2.9%
- ・ わからない/答えられない : 0.0%

■ 理解を得られない中での導入の進め方、「他社の成功事例を用いて説明を行った」が 8 割以上

Q3 で「あまりなかった」「全くなかった」と回答した方に「Q4.なかなか理解を得られない中で、どのように導入まで進めたのか教えてください。（複数回答）」（n=17）と質問したところ、「他社の成功事例を用いて説明を行った」が 82.4%、「実験的に小さな領域から始め、効果を示した」が 70.6%、「段階的な導入計画を提案し、徐々に理解を得た」が 58.8%という回答となりました。

Q4

なかなか理解を得られない中で、どのように導入まで進めたのか教えてください。（複数回答）



ネットイヤーグループ株式会社
マーケティング領域におけるAIの活用実態調査 | n=17

- ・他社の成功事例を用いて説明を行った：82.4%
- ・実験的に小さな領域から始め、効果を示した：70.6%
- ・段階的な導入計画を提案し、徐々に理解を得た：58.8%
- ・社内での意見交換やワークショップを実施し、情報を共有した：29.4%
- ・他部門を巻き込み、共に導入を進めることで理解を得た：17.6%
- ・その他：0.0%
- ・わからない/答えられない：5.9%

■「成功事例や、利用方法を説明しながら進めた」の声も

Q4で「わからない/答えられない」以外を回答した方に、「Q5.Q4で回答した以外に、社内で理解を得られない中で、あなたが模索したことがあれば、自由に教えてください。（自由回答）」（n=16）と質問したところ、「成功事例や、利用方法を説明しながら進めた」など3の回答を得ることができました。

<自由回答・一部抜粋>

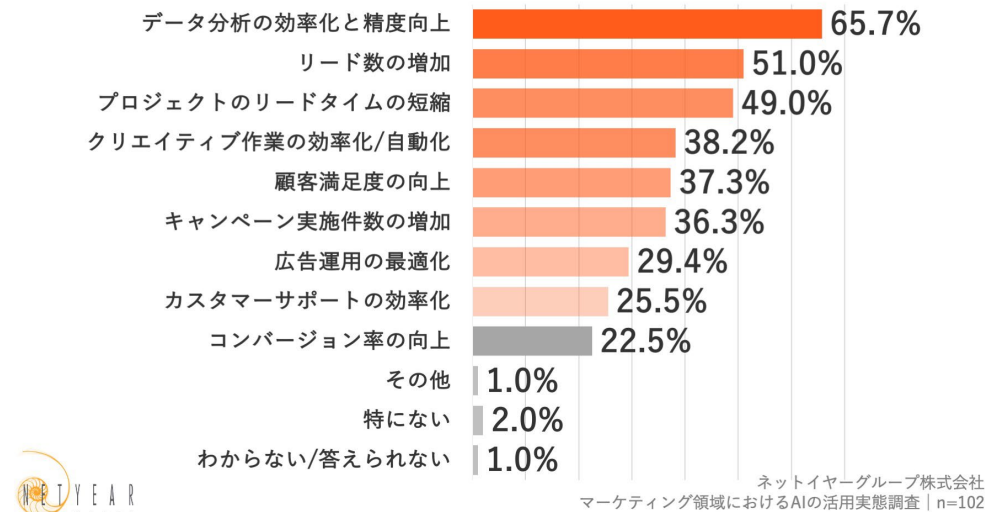
- 53歳：成功事例や、利用方法を説明しながら進めた。

■AIツールの活用で得られた成果や効果、「データ分析の効率化と精度向上」や「リード数の増加」など

「Q6.部門独自のAIツールの活用で得られた成果や効果を教えてください。（複数回答）」（n=102）と質問したところ、「データ分析の効率化と精度向上」が65.7%、「リード数の増加」が51.0%、「プロジェクトのリードタイムの短縮」が49.0%という回答となりました。

Q6

部門独自のAIツールの活用で得られた成果や効果を教えてください。
(複数回答)



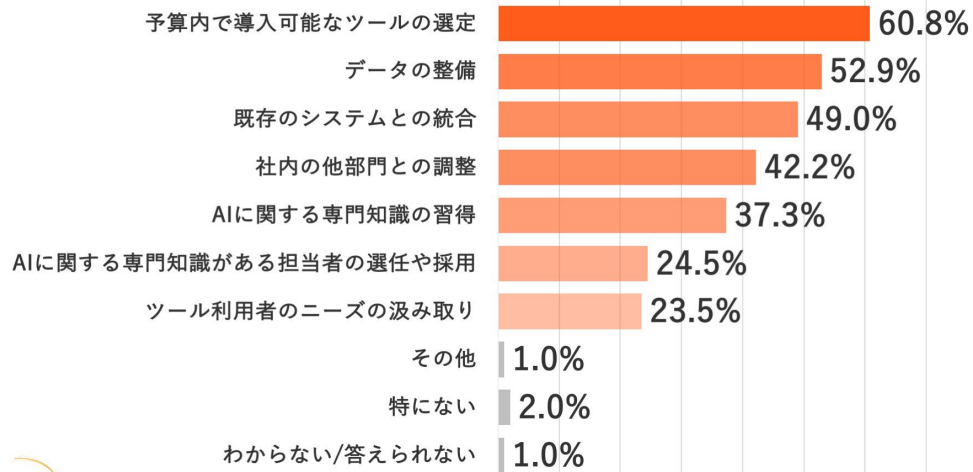
- ・データ分析の効率化と精度向上 : 65.7%
- ・リード数の増加 : 51.0%
- ・プロジェクトのリードタイムの短縮 : 49.0%
- ・クリエイティブ作業の効率化/自動化 : 38.2%
- ・顧客満足度の向上 : 37.3%
- ・キャンペーン実施件数の増加 : 36.3%
- ・広告運用の最適化 : 29.4%
- ・カスタマーサポートの効率化 : 25.5%
- ・コンバージョン率の向上 : 22.5%
- ・その他 : 1.0%
- ・特になし : 2.0%
- ・わからない/答えられない : 1.0%

■ 6割以上が、「予算内で導入可能なツールの選定に苦労した」と回答

「Q7.部門独自の AI ツールの導入に関して、苦労した点を教えてください。(複数回答)」(n=102)と質問したところ、「予算内で導入可能なツールの選定」が 60.8%、「データの整備」が 52.9%、「既存のシステムとの統合」が 49.0%という回答となりました。

Q7

部門独自のAIツールの導入に関して、苦労した点を教えてください。
(複数回答)



ネットイヤーグループ株式会社
マーケティング領域におけるAIの活用実態調査 | n=102

- ・ 予算内で導入可能なツールの選定 : 60.8%
- ・ データの整備 : 52.9%
- ・ 既存のシステムとの統合 : 49.0%
- ・ 社内の他部門との調整 : 42.2%
- ・ AI に関する専門知識の習得 : 37.3%
- ・ AI に関する専門知識がある担当者の選任や採用 : 24.5%
- ・ ツール利用者のニーズの汲み取り : 23.5%
- ・ その他 : 1.0%
- ・ 特になし : 2.0%
- ・ わからない/答えられない : 1.0%

■「専門的知識の習得とセキュリティ対策」や「知識の習得」などに苦労したとの声も

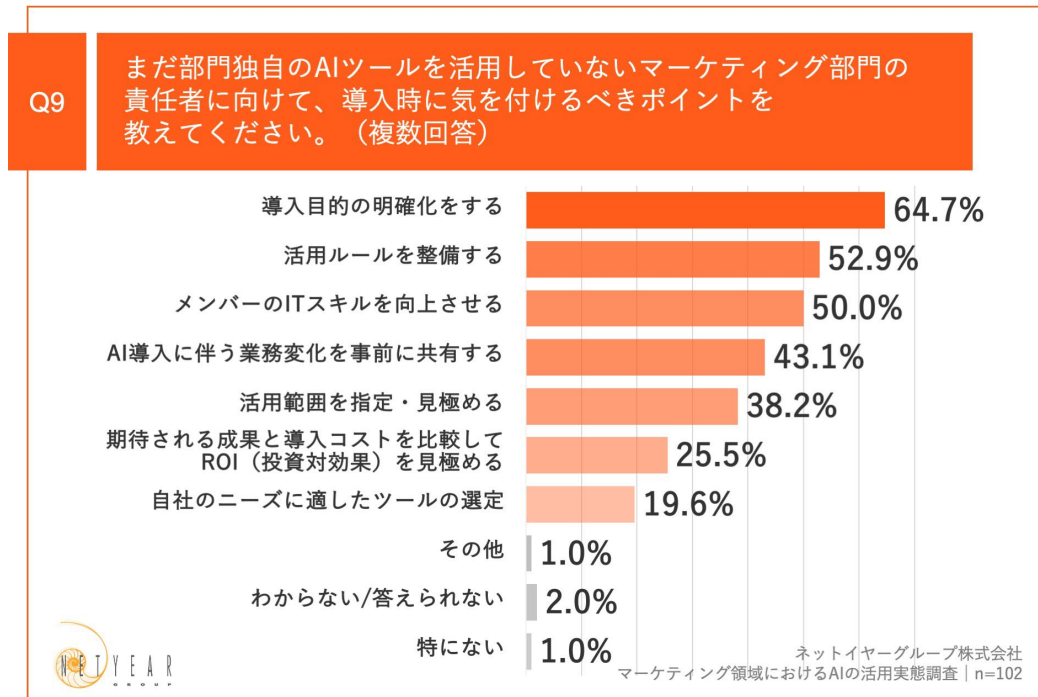
Q7 で「特になし」「わからない/答えられない」以外を回答した方に、「Q8.Q7 で回答した以外に、導入に関して苦労した点があれば、自由に教えて下さい。(自由回答)」(n=99)と質問したところ、「専門的知識の習得とセキュリティ対策」や「知識の習得」など 45 の回答を得ることができました。

<自由回答・一部抜粋>

- 64 歳 : 全社員の理解度不足。
- 47 歳 : 知識の習得。
- 45 歳 : 使いこなすまで一定の時間が必要。
- 38 歳 : 使い方がわからない。
- 58 歳 : 手作業の部分が残ってしまったこと。
- 55 歳 : 専門的知識の習得とセキュリティ対策。
- 32 歳 : 各 AI の比較検討。

■ AI ツール導入時に気を付けるべきポイント、第 1 位「導入目的の明確化をする」、第 2 位「活用ルールを整備する」

「Q9.まだ部門独自の AI ツールを活用していないマーケティング部門の責任者に向けて、導入時に気を付けるべきポイントを教えてください。（複数回答）」（n=102）と質問したところ、「導入目的の明確化をする」が 64.7%、「活用ルールを整備する」が 52.9%、「メンバーの IT スキルを向上させる」が 50.0%という回答となりました。



- ・ 導入目的の明確化をする：64.7%
- ・ 活用ルールを整備する：52.9%
- ・ メンバーの IT スキルを向上させる：50.0%
- ・ AI 導入に伴う業務変化を事前に共有する：43.1%
- ・ 活用範囲を指定・見極める：38.2%
- ・ 期待される成果と導入コストを比較して ROI（投資対効果）を見極める：25.5%
- ・ 自社のニーズに適したツールの選定：19.6%
- ・ その他：1.0%
- ・ わからない/答えられない：2.0%
- ・ 特になし：1.0%

■ 「セキュリティ対策」や「相談相手を見つける」などの声も

Q9 で「特になし」「わからない/答えられない」以外を回答した方に、「Q10.Q9 で回答した以外に、導入時に気を付けるべきポイントがあれば、自由に教えてください。（自由回答）」（n=99）と質問したところ、「セキュリティ対策」や「相談相手を見つける」など 42 の回答を得ることができました。

<自由回答・一部抜粋>

- 47 歳：仕様の理解。
- 38 歳：相談相手を見つける。
- 54 歳：何を AI に頼るかの明確な設定。
- 55 歳：セキュリティ対策。

●53 歳：利用目的を明確にすること、コスト面。

■まとめ

今回は、部門独自で AI を活用しているマーケティング部門の責任者 102 名を対象に、マーケティング領域における AI の活用実態調査を実施しました。

まず、84.3%が業務の中で「ChatGPT」を使用しており、満足度も 76.8%と最も高い結果となっています。一方、AI ツール導入時に社内理解が不足している場合には、8 割以上が「他社の成功事例を用いた説明を行う」などの手法を活用し、理解を得ていました。また、AI ツールの導入効果としては、「データ分析の効率化と精度向上」（65.7%）や「リード数の増加」（51.0%）が顕著ですが、導入時には、60.8%が「予算内でのツール選定に苦労した」と回答しています。最後に、これから AI 導入を試みるマーケティング部門の責任者に向けては、「導入目的の明確化をする」（64.7%）や「活用ルールを整備する」（52.9%）などが気をつけるポイントとして挙げられました。

今回の調査では、AI ツールの導入における成功の秘訣や課題が浮き彫りになりました。デジタル化が進む現代のマーケティングにおいて、AI は効率と成果を大きく向上させるツールとして重要な役割を担っています。企業が AI を効果的に活用するためには、導入目的の明確化と活用ルールの整備が不可欠であり、今後も AI の効果的な活用が企業の競争力強化に寄与するでしょう。

▼本調査のレポートダウンロードはコチラ

【実態調査レポート】マーケティング領域における AI の活用実態調査
<<https://www.netyear.net/services/dl/ai-research2024/>>

【ネットイヤーグループ株式会社（東証グロース：証券コード 3622）】

「ビジネスの未来をデジタルで創る。ビジネスの未来をユーザーと創る。～ユーザーエクスペリエンスからすべてが始まる。～」をミッションとして、デジタル時代のマーケティングコンサルティング、デザイン思考による UX、サービスデザイン、システム開発、マーケティングツールの企画販売などを通じ、企業のロイヤリティマーケティングやエンゲージメント強化のご支援をしています。

企業サイト <https://www.netyear.net/>

【本件に関するお問い合わせ先】

ネットイヤーグループ株式会社

担当：佐野

TEL：03-6369-0500

MAIL：pr@netyear.net